授業科目名： 保健体育科指導法Ⅲ	教員の免許状取得のための 必修科目（選択科目）	単位数： 2 単位	担当教員名： 渋谷聡、天利公一 担当形態　オムニバス
実務内容 （実務家教員の場合）			
科　目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校保健体育）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		

「学位授与の方針」との関係　A から F の項目すべてに該当する。

授業の到達目標及びテーマ

（１）学習指導要領およびその解説を理解した上で、学習指導案を作成することができる。
（２）素材、教材、教具について理解し、ICT を含めた教材開発をすることができる。
（３）開発した教材を指導法に生かすことができる。

授業の概要

保健体育科指導法Ⅰにおいて、学習指導要領および解説を理解した上で、指導と評価の一体化を踏まえた体育実技の学習指導案を作成している。

そこで本授業では、素材、教材、教具とは何かということを学修する。その上で、運動が苦手な生徒に対するつまずきと手立てを踏まえた学習指導案の作成と模擬授業を実施することによって、保健体育教員として必要な教材開発及び指導法を学んでいく。また、主体的、対話的で深い学びと学習の過程との関わりを踏まえた学びを展開していく。

授業計画

第１回：学習の過程についての学び
第２回：体育実技における学習の過程についての学び
第３回：主体的、対話的で深い学びの必要性の理解
第４回：学習の過程と主体的、対話的で深い学びの関わり（ICT の活用を含む）
第５回：作成した学習指導案の振り返り
第６回：素材、教材、教具についての学び
第７回：教材づくりとは何か
第８回：体育実技における教材づくりについて学ぶ（運動が苦手な生徒への手立て含む）
第９回：学習指導案の見直しと教材の開発：陸上
第１０回：学習指導案の見直しと教材の開発：ネット型球技（バドミントン）
第１１回：学習指導案の見直しと教材の開発：ゴール型球技（サッカー）
第１２回：学習指導案の見直しと教材の開発：ベースボール型（ソフトボール）
第１３回：学習指導案にもとづいた模擬授業の実施（陸上、バドミントン、サッカー、ソフトボール）
第１４回：模擬授業の振り返り：グループディスカッション
第１５回：学習指導案の改善
定期試験

スクーリングでの学修内容

保健体育科指導法 I で作成した学習指導案を参考に、事前にレポートとして提出した学習指

導案（陸上競技、バドミントン、サッカー、ソフトボールのどれか）を改訂するとともに、教材づくりを加えて模擬授業の実施後、グループディスカッションといったアクティブラーニング手法を中心に、省察していく。
（主に第 1 回～第 15 回の内容を含む。）

教科書

（１）文部科学省『中学校学習指導要領解説　保健体育編』東山書房
ISBN-13:978-4827815764

（２）文部科学省『高等学校学習指導要領解説　保健体育編　体育編』東山書房
ISBN-13: 978-4827815689

（３）国立教育政策研究所（2020）「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料　中学校保健体育」ISBN-13：978-4491041384

（４）国立教育政策研究所（2021）「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料　高等学校保健体育」ISBN-13：978-4491047003

参考文献

・高橋建夫他（2011）『新版体育科教育学入門』大修館書店　ISBN　978-4-469-26701-3
・岩田靖（2012）『体育の教材を創る』大修館書店 ISBN 978-4-469-26728-0

学生に対する評価

　レポート評価（２５％）、スクーリング評価（２５％）、科目修得試験（５０％）の割合で総合して評価する。